

令和3年度 社会福祉法人大阪市住之江区社会福祉協議会事業報告

自 令和 3年4月 1日
至 令和 4年3月31日

管理運営部門

1 社会福祉法人大阪市住之江区社会福祉協議会の管理・運営

(1) 三 役 会

令和3年 5月28日(月) 理事会の進行と役割について
令和4年 3月15日(火) 理事会の進行と役割について

(2) 理 事 会

令和3年 5月28日(金) ①定款の変更について
②令和2年度事業報告(案)について
③令和2年度決算(案)について
④理事及び監事候補者の推薦について
⑤評議員候補者の選任について
⑥評議員選任・解任委員会の開催について
⑦評議員会の開催について
6月25日(金) ①会長・副会長・常任理事の選任について
②その他報告事項
各委員の選任について
③区社協の取組みについて
12月15日(水) ①経理規程の一部改正(案)について
②会長職務執行状況報告について
令和4年 3月15日(火) ①令和3年度補正予算(案)について
②令和4年度事業計画(案)について
③令和4年度予算(案)について
④諸規程の一部改正について
⑤役員等賠償責任保険契約締結について
⑥評議員会の開催について

(3) 評議員会

令和3年 6月25日(月) ①定款の変更について

- ②令和2年度事業報告（案）について
- ③令和2年決算（案）について
- ④理事及び監事の選任について

※新型コロナウイルス感染防止のため書面審議（決議の省略）により議決

- ・提案日：令和3年6月19日（土）
- ・みなし決議日：令和3年6月25日（月）

- 3月29日（火）
- ①定款の変更について
 - ②令和2年度事業報告（案）について
 - ③令和2年度決算（案）について
 - ④理事及び監事候補者の推薦について
 - ⑤評議員候補者の選任について
 - ⑥評議員選任・解任委員会の開催について

2 経営基盤の充実

賛助会員加入状況

- 個人会員（3,000円）内2,000円は地域に配分する。
430件 1,290,000円（但し、法人・町会単位を含む）
- 法人会員（10,000円）但し、20%を地区社協数で割った金額を地域に配分する。
18件 173,000円

3 善意銀行運営の管理・運営

(1) 善意銀行運営委員会

実施日 令和3年9月6日（月）
場 所 書面審議
内 容 令和3年度事業助成について

(2) 運営状況

前期繰越	11,339,161円	（令和3年度へ繰越）
収入金額	846,790円	（預託7件）
	20,071円	（預金利息）
	387,000円	（未収金）
支出金額	121,103円	
次期繰越	12,471,919円	

<預託者名（敬称略順不同）> ◎は毎年の寄付

金銭預託

◎衛藤典雄 ◎大阪咲洲ロータリークラブ ◎加賀屋農園 ◎住友生命 南
港ヒューマニー委員会 ○酒井敦○タウンネットアドバンス㈱ ○匿名

物品寄附

○竹内周次 ○大野恭一 ○匿名

<払出し>

◎住之江区小学校校長会 防犯ブザー○地域福祉推進事業助成金 2件

地域福祉推進部門

1 地域福祉活動支援事業

(1) 各地区社協活動の支援

各地区社協で実施されている活動を支援し、地域福祉の向上をめざすと
ともに、各地区社協と協働しながら、福祉のまちづくりを推進する。

①地区社協会長会・ネットワーク委員長会合同会議

令和3年9月29日(水)

- ・「要援護者名簿」愛称募集について
- ・シニア世代が望む活躍と集いの場調査について
- ・令和3年度「地区社協運営費」助成金について
- ・共同募金運動について
- ・令和2年度取組み報告及び令和3年度の取組みについて
- ・各地域における地域福祉活動の現状と展望について（情報交換）
- ・その他 (1) スマホ講座について
(2) 広報紙等

令和4年2月15日(水) = オンライン会議 (Zoom) =

- ・「要援護者名簿」愛称決定について
- ・シニア世代が望む活躍と集いの場調査の結果について
- ・見守り活動見本市について
- ・各地域における地域福祉活動の現状と展望について（情報交換）

②地域ネットワーク推進員連絡会（あったかネット連絡会）

毎月第4金曜日に定例開催

- ・情報交換を中心に、事例検討等をおこなう。
- ・4、5、8、9、1、2月はオンライン会議 (Zoom) にて開催。

③各地域での地域福祉推進支援

加賀屋地域	・地域ネットワーク委員会への参画及びニュー加賀屋マンションアンケート実施への協力
粉浜地域	・「粉浜地域と事業所・専門職との懇談会」開催への支援 ・UR団地に住むひとり暮らし高齢者へのアプローチ
平林地域	・かぎ預かり事業にかかる相談、調整 ・寝屋川社会福祉協議会による勉強会（令和3年8月） ・ひとり暮らし高齢者を地域で守る戸別訪問大作戦@南港東第3町会 ・かぎ預かり事業スタート（令和4年1月～）
太陽の町	・森ノ宮医療大学地域連携センターとの協働事業「もりもりふれあい訪問」実施に向けた調整

④高齢者ワクチン接種予約支援

地域の取り組み（安立・住吉川・平林・太陽の町等）に合わせて4～6月にかけて昨年度配付したタブレット等を用いて、各福祉会館等で高齢者のワクチン接種予約支援を地域とともにいった。

（2）各種会議への参画

①自立支援協議会

精神保健福祉ネットワーク部会会議…毎月第3金曜日

子ども部会会議…コロナ禍で適時開催

運営幹事会…2ヶ月に1回（偶数月）緊急事態宣言、まん延防止等
発令の場合は、ZOOM開催

当事者部会…2ヶ月に1回（奇数月）緊急事態宣言、まん延防止等
発令の場合は、ZOOM開催

全体会…書面決議

（3）各種講座の開催

①認知症サポーター養成講座 5回（森ノ宮医療大学、地域、中学校等）

②キャラバンメイト連絡会 6回

（4）その他

車いすの貸し出し 164件

2 地域福祉計画の推進支援について

区役所に協力し、「ふだんのくらししあわせプラン」（地域福祉計画）の推進支援、各地域の活動状況の把握を行った。

○地域懇談会に参画（区役所に同行） 各地域1回

3 社会福祉施設連絡会の運営

(1) 役員会

【第1回】

- 日 時 令和3年11月19日（火）午後2時～3時30分
- 場 所 区在宅サービスセンターさざなみ 3階多目的ルーム
- 内 容 総会の開催について
- ①令和2年度事業報告について
 - ②令和3年度事業計画（案）について
 - ③アシスタントワーカー（案内）
 - ④「社会福祉法人の地域における公益的な取組」アンケートの実施について

【「社会福祉法人の地域における公益的な取組み」アンケート】

目 的	住之江区における地域貢献活動の実施状況や社会福祉法人・社会福祉施設が日ごろの取組みのなかで感じていること等を把握するとともに、他法人・地域団体等と連携・協働した取組みやネットワークの構築など、今後の活動のさらなる発展につなげるため。
回答状況	配布数：44 回答数：18 回答率：41%
成 果	<ul style="list-style-type: none">・各施設が取り組んでいる地域貢献活動の具体的な内容や地域との関わりを知ることができた。・各施設が感じている他の施設に対して「できること」「してほしいこと」を知ることができた。・「福祉教育プログラム集」の作成に関して、「作成会議への参加ができる」施設が8施設、「福祉教育プログラムの提供ができる」施設が4施設あることが分かった。

【第2回】

- 日 時 令和4年2月21日（月）午後2時～3時30分
- 場 所 区在宅サービスセンターさざなみ 3階多目的ルーム
- 内 容 ①令和3年度研修について
- ②令和4年度 事業計画について
- ・これまでのふりかえり

- ・施設連絡会だからできること
- ・令和4年度何に重点をおいて取り組むか

(2) 総会

日 時	令和4年1月11日(火) 午後2時～4時
場 所	区在宅サービスセンターさざなみ 3階多目的ルーム
内 容	①第1号議案 令和2年度事業報告 ②第2号議案 令和3年度事業計画(案) ③情報交換 「社会福祉法人の地域における公益的な取組」について ・各施設が取り組んでいる地域貢献活動を共有。 ・コロナ禍における課題やコロナ禍だからできたこと等を情報共有した。 ④コミュニティ防災人材育成について

(3) 研修会

大阪市社会事業施設協議会「一水会」
日 時：令和4年3月8日(火) 午前10時～11時30分
テーマ：コロナ禍で考える 施設と地域とのつながり・公益的な取組み
講 師：新崎 邦弘特任教授 (大阪教育大学教育学部教育協働学科)
参加者：4施設

4 共同募金地区募金会の運営

(1) 地区募金会の開催

日 時	令和3年12月15日(水) 午前11時～ ※区社協理事会に引き続き開催
場 所	住之江区在宅サービスセンター「さざなみ」3階 多目的室
案 件	①令和2年度 共同募金実績報告 ②令和3年度 共同募金の推進について

(2) 共同募金運動の推進

- ①共同募金運動期間 令和3年10月1日～12月31日

②多様な募金運動の実施

- ・各地区連合町会へ戸別募金およびバッジ募金の協力依頼
- ・街頭募金の実施

例年地下鉄住之江公園駅前にて10月1日に行っている「街頭募金」は、新型コロナウイルス感染症感染拡大により中止

令和3年11月7日(日) 清江子どもまつり

令和3年11月13日(土)・14日(日) 咲洲子どもEXPO

令和3年11月27日(日) 清江の秋まつり

- ・区内小中学校への学校募金の協力依頼および協力校へお礼状の交付
- ・区社協窓口に募金箱の設置および区内各施設(企業・商店含む)への募金箱設置協力依頼
- ・募金実績額 金3,767,060円(前年度比 △207,322)

③募金運動に関する周知啓発

区社協広報紙やホームページにおいて募金運動に関する周知啓発

5 住之江区ボランティア・市民活動センターの運営

(1)「住之江区ボランティア・市民活動センター開設セレモニー」の開催

日時：令和3年12月19日(日)午後1時30分～4時

参加者：35名(※Zoom参加者を含む)

〈内訳〉登録ボランティアグループ、社会人ボランティア、企業など

(2) 需給調整事業

援助依頼者の受付、ニーズの把握及び援助計画の検討

○ボランティア活動希望者の受付、登録および活動紹介

- ・新規登録ボランティア8名

○ボランティアグループの登録、活動紹介および連携

- ・登録グループ46グループ(うち新規登録2グループ)

(3) 活動援助事業

①ボランティアグループ定例会・研修会への参加

②ボランティアグループ育成・援助

③ボランティア保険申し込みの受付

○ボランティア保険の受付

- ・ボランティア活動保険78件 ・活動行事保険113件

- ・有償活動保険3件 ・移送中事故傷害保険0件

④ボランティア団体等への会議室、備品等の提供

- ⑤ボランティアルーム、朗読デッキ等の使用
- ⑥令和3年度ボランティア活動推進事業助成金申請の受付12件

<申請団体>

絵本の会/音訳グループほのぼの/子育て支援わらべの会
すみのえふれ愛日本語サークル/住之江のまち案内ボランティアの会
手話サークルつばさ/大正琴コスモス会/みんなでウクレレ歌おう会
民踊すみれ会幸承会

(4) 広報啓発活動事業

- ①ホームページによる情報発信（区社協ホームページに掲載）
 - ・「私たちおせっかい宣言 web サイト」の運用開始
- ②行事周知のためのポスター、チラシの作成
 - ・ボランティアだより発行（年2回）
 - ・学校支援ボランティア広報チラシ作成

(5) 福祉教育推進

「福祉」とは、特別な人に対することではなく、日常生活の中にあることを伝え、各世代に応じた福祉活動ができるよう推進

- 安立小学校4年生92名（車椅子体験、バリア探し）
バリア探しでは、児童に貸与されているパソコンのカメラ機能を活用したプログラムを実施。車椅子体験では、地域住民3名に協力いただいた。
- 南港みなみ小学校4年生47名（アイマスク体験・当事者講話）
自立生活夢宙センターと共同でプログラムを企画・実施
- 真住中学校1年生27名（職業講話）
防災まち歩きへの協力（災害ボランティアセンターについて講話）
- 水都国際高校3年生5名（奉仕活動体験/講話/交流会）
3日間にかけて実施。初日に奉仕活動体験、2日目には地域とボランティア活動に関して、地域住民、区社協から話した。最終日には、地域住民4名と生徒の交流会を開催
- 水都国際高校1年生10名（ボランティアについての講義）
大阪市ボランティア・市民活動センターと協働で講義を実施

(6) 調査・研究事業

ボランティア活動や社会福祉に関する情報・資料の収集

6 広報・啓発活動

- (1) 区社協だより「さざなみ」第74号(8月)・第75号(1月)
- (2) ホームページ、ブログ、フェイスブックによる情報提供
- (3) 地区社協広報活動への助成

7 各種団体・事業助成

- (1) 地区社協活動への助成 法人運営 6,874,000円
地区社協指導育成費、地区社協推進費、地区社協活動再開のための整備費、地区社協活動費(広報活動)
- (2) 住之江競艇運営協議会助成金 11,664,000円
各福祉団体活動への助成

8 防災の取組み

- (1) オンライン防火講座「支援が必要な方を火災から守るために」
開催日：令和3年9月21日(火)
講師：大阪市消防局住之江消防署 消防司令 香西 健氏
対象：居宅介護支援事業者や障がい者支援事業者等14名
方法：Zoom研修(さざなみ3階多目的室より配信)
- (2) 市・区社協合同災害対策本部設置訓練
開催日：令和3年12月22日(水)
内容：大規模災害発時の市・区社協の役割及び連携の確認
- (3) 災害時に備えた資機材の設置、防災倉庫の整理整頓等
 - ・災害ボランティアセンター開設時に使用する毛布(30枚)
 - ・災害ボランティア及び職員が使用するヘルメット(30個)

その他の区社協による事業部門(受託事業)

1 地域における要援護者の見守りネットワーク強化事業 (見守り相談室市委託事業)

(1) 機能①「地域の見守り活動への支援」

① 郵送による同意確認

対象者：要介護3以上および日常生活自立度Ⅱ以上、障がい(児)者、
難病患者

対象者数	回答数	回答率	同意件数	不同意件数
3,264人	2,340件	71%	2,011件	329件

②訪問による同意確認

対象者：同意書発送後、返信のなかった方

対象者	回答数	回答率	同意件数	不同意件数
736人	198件	26%	139件	33件

③名簿提供人数（令和元年12月1日作成）

地域名	名簿提供人数	地域名	名簿提供人数
安立	309人	平林	147人
敷津浦	245人	新北島	209人
住之江	166人	南港緑	153人
住吉川	248人	花の町	148人
加賀屋	170人	海の町	95人
加賀屋東	280人	太陽の町	102人
粉浜	348人	清江	74人
合 計		2,694人	

(2) 機能②「孤立世帯等への専門的対応」

①相談件数

訪問	電話	来所	その他	合計
1,320件	956件	91件	97件	2,464件

②相談実人員

相談実人員	性別内訳		
	男	女	不明
937件	423件	514件	0件

③属性内訳

要支援・要介護の高齢者	要支援・要介護以外の高齢者	身体障がい者・児	知的障がい者・児	精神障がい者・児	発達障がい者・児
652人	82人	101人	41人	17人	8人

難病	引きこもり	ごみ屋敷	生活困窮者	子育て中の保護者	その他
2人	0人	1人	1人	6人	26人

④相談内訳

経済・生活問題	458件	いきがづくり	0件
福祉サービス	162件	虐待	8件
保健・医療	151件	家族・家庭問題	2件
介護	20件	見守り訪問	200件
子育て	4件	ごみ屋敷	23件
就労	1件	その他	1,574件
		合計	2,629件

⑤アウトリーチ（※）による相談 ※必要な支援を拒否する方への対応

相談延べ件数 485件

相談実人員 155人

(3) 機能③「認知症高齢者等の行方不明時の早期発見」

①協力者 189件

②登録者 57件

③行方不明発生状況 配信依頼件数 10件 発見件数 10件

(4) 要援護者名簿愛称募集

大阪市内全域で配布している要援護者名簿、行政情報に基づき要介護3又は障がい者手帳2級以上の方に名簿記載の同意書を発送し、同意確認の返信があった方を名簿に記載している。

「要援護者名簿」漢字ばかりで馴染みにくいこの名簿に愛称を付け広く区民に知ってもらい、1人でも多くの方に登録してもらいたいという願いから愛称名を広く公募した。

【要援護者名簿愛称募集 経過】

月	内容	詳細
8月～	募集開始	広報誌さざなみ、さざんか、HP、ポスター・チラシ（学校、班回覧、商店等）
9月30日（木）	応募〆切り	応募総数165作品
10月25日（月）	選考委員会開催	165作品の中から5作品を選考
11月1日（月）	各地域福祉会館や飲食店等に投票箱設置	一般投票を開始
1月～	広報誌、Web投票	広報誌さざなみ、Web投票開始

1月31日（火）	投票〆切り	投票総数530票
2月10日（金）	愛称決定	「すみのエール」に決定
3月23日（木）	表彰式	東加賀屋小学校校長室にて表彰式

（５）平林地域における高齢者名簿の整備と鍵預かり事業

南港東第3町会で高齢者名簿の整備とかぎ預かり事業を開始。8月28日（土）には、先行している寝屋川市社協スタッフを招聘して勉強会を地域で開催した。

2 見守りあったかネット事業（区委託事業）

区内の地域住民の方へ「見守りの気づきの視点」を高め、見守り活動の担い手の養成を目的に各地域の実情に合わせた研修会を実施する。住民同士の支え合い、見守り活動の促進により、事態が深刻化する前に適切な制度やサービス等につなげることで、安心して暮らせる地域づくりを目的とする。

【見守りあったかネットサポーター養成講座開催及び周知・啓発】

	実施回数	参加者数
地域向け	5	114
学校向け	7	945
計	12	1,059

【事業の周知】

- ・区社協だよりへの掲載について

発行時期 令和3年8月、令和4年1月

発行部数 各46,000部

8月発行 要援護者名簿愛称募集、
ICTの取組み等

1月発行 要援護者名簿愛称投票、
区社協各事業の取組み周知等

3 新たな地域コミュニティ支援事業

（住之江区まちづくりセンター区委託事業）

（1）地域課題への対応

①花の町地域における CSR アンケート

㊦アンケート実施

ふだんのくらししあわせプラン～住之江区地域福祉計画～（R3.10月）で「防災意識の向上」の課題で、記載されている「最終的には、他地域で実施した企業に向けたアンケート調査をとおして企業等と連携することを目指していきます」を地域とともに次のとおり実践した。

＝花の町地域の企業・事業所における地域貢献活動に関するアンケート＝

実施期間 令和3年10月4日（月）～11月8日（月）

実施主体 さざんか花の町協議会・住之江区まちづくりセンター

配布数 地域内237事業所等

回答数 41企業・事業所等

㊧企業訪問

回答企業41企業の中から、地域が関心のある企業6社を選定して次のとおり訪問。今後の防災、イベント、コスモ地区での協働の参考にする。

②粉浜地域における事業所・専門職と地域の懇談会

町会長と専門職の個々のつながりだけでなく、組織同士でつながりたいとの地活協会長の思いから実現。今回で7回目を数えている。加賀屋・粉浜地域包括支援センターや区社協地域支援担当、見守り相談室とも連携。

開催日時 令和3年7月17日（土）午後2時～4時

場 所 粉浜中央福祉会館

テ ー マ コロナ禍における地域での高齢者の現状
地域や事業所等が力を合わせてできること

参加者 45名（地域24名、専門職21名）

この懇談会のグループワークで共有された「取り組みたいこと」での「介護保険の勉強会」や「要援護者名簿の利用方法を知りたい」から粉浜地区民生委員児童委員協議会例会（11月25日）での介護保険・要援護者名簿勉強会につながった。

③オンライン子育てサロン

コロナ禍で今年度も各地域の「子育てサロン」の全てが休止に。子育て層のつながり維持の一助としてまちづくりセンターでline liveを活用してオンライン子育てサロンを次のとおり企画配信。子育て層から好評を得ている。

第1回 「子どもの予防救急①」住之江消防署

- 夏休み特別企画 「親子でおでかけ すみのえ inATC」
- 第2回 「子どもの予防救急②」住之江消防署
- 第3回 親子で楽しみ学ぶエコ」ATC グリーンエコプラザ
- 第4回 「楽しく！美味しい！Xmas 離乳食」南港病院栄養科
- 第5回 「スッキリ解決！そうだったんだ！お子さんの薬の飲ませ方」
コクミン薬局薬剤師
- 第6回 「3世代で出来る！ラジオ体操風ヨガ」上羽 悠雅先生

(2) つながりの拡充

①企業・NPO・学校・地域交流会

所属を超えた多様な協働を喚起、システムティックにコーディネートするため開催。この交流会からは、地域×企業、地域×大学、地域×NPO等58もの協働事例が誕生している。今年度は、コロナ禍に対応してWeb開催を試み2回開催した。

【第1回企業・NPO・学校・地域交流会】

～オンラインWebミーティング～

- 日 時 令和3年10月13日(水) 18時30分～20時
- 配信拠点 在宅サービスセンター「さざなみ」
- 参加者 36名(会場参加20名、オンライン参加16名)
- 講師 藤原 明氏(りそな総研リーナルビジネス部長)
- 内 容 1. 事例報告と講義
地域活動応援サークルの取組み
オンラインラジオ体操・おせっかい宣言Webサイト
2. プレゼンテーション 6団体
各団体事業紹介
3. まとめ他

【第2回企業・NPO・学校・地域交流会】

～すみのえ情報局開局記念～

- 日 時 令和4年2月21日(月) 19時～20時30分
- 配信拠点 すみのえ舞昆ホール(区民ホール)
- 参加者 51名(会場参加25名、オンライン参加26名)
- 講師 藤原 明氏(りそな総研リーナルビジネス部長)
- 内 容 1. 「すみのえ情報局」開設紹介
2. 講師講義
3. プレゼンテーション
動画による地域活動紹介&社会貢献活動紹介

4. まとめ

備考 制作動画については、「すみのえ情報局」にて公開中

②地域活動応援サークル

企業・NPO・学校・地域交流会から、「もっと日頃から地域貢献したい」と思いを持った社会人有志でサークルを2017年9月に結成。「子ども食堂」の啓発イベントやコロナ禍での折り紙を使ったつながりづくり等を進めてきた。

今年度は、コロナ禍でのつながりづくりオンラインのラジオ体操やボランティア活動情報発信 Web サイト「わたしたちおせっかい宣言」を立ちあげた。

特にオンラインラジオ体操は、今年度17回開催し、延べ132団体533人の参加を得ている。その取り組みが大阪府に認められ、大阪府健康づくりアワード「奨励賞」（事務局：大阪府健康医療部健康推進室健康づくり課）を受賞した。

【活動日】※参集とオンラインのハイブリット開催

4/19・5/17・6/14・7/13・7/13・8/23・9/16・10/20・11/24・1/18・2/14・3/14

(3) 組織運営支援

①地域活動の動画発信スキルの獲得支援

すみのえ情報局開局に合わせて、次のとおり「すみのえ動画」講座を開催。実際に動画撮影編集を行う実践型プログラムで、最初は経験が無く、戸惑っていた参加者が、講師のユニークな指導もあり、楽しみながら動画制作を行った。コツをつかんで、第2第3の作品を制作する参加者も多く、地域のホームページやYOUTUBE発信等を行う地域も出始めている。

これにより、楽しみながら地活協の広報発信の「担い手拡大」につながった。地域の方々に登下校の見守り活動の紹介に活用する等、その用途はアイデア次第で広がっている。

開催時期	令和3年10月～11月	1クール3回で3クール開催
参加人数	26名	

②日ごろからの地域訪問による会計事務・事業実施・会議開催・情報発信支援

普段から、地域に出向き上記の相談対応や開催支援を行った。

③地域活動におけるICT化の推進

法人本部、区役所や地域と連携して、各地域のタブレットを活用して、高齢者へのワクチン接種予約支援やオンラインでの情報交換、会計指導、体操教室のオンラインでの実施等、地域活動のICT化を推進した。

④その他

- ・まちづくりセンターHP・フェイスブックによる情報発信や行事カレンダーの更新と配布
- ・区が主催する「地域活動協議会会長会」で地域行事共有や事業告知報告

(4) 令和3年度相談対応件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
訪問	83	65	80	102	87	81	106	111	99	90	51	72	1,027
面接	88	51	42	25	47	34	58	33	40	61	42	50	571
電話	239	157	185	187	173	152	232	241	200	211	250	216	2,443
メール	198	150	222	266	296	355	350	275	256	289	358	281	3,296
計	608	423	529	580	603	622	746	660	595	651	701	619	7,337

4 地域包括支援センター事業（市委託事業）

(1) 地域包括支援センター事業

①総合相談支援業務・包括的継続的ケアマネジメント

年間相談実人員	1,076人
---------	--------

総合相談	訪問による相談	延1,106件
	電話による相談	延5,963件
	来所による相談	延786件
	その他	延86件
	合計	延7,941件

会議開催・参加状況	地域ケア会議の開催	5回
	ブランチ連絡会の開催	6回
	ネットワーク構築のための会議	62回
	区運営協議会への参加	3回
	地域密着型サービス運営推進会議	19回
	サービス利用調整会議	11回
	地域との関係づくり	162回
包括的継続的ケアマネジメント	介護支援専門員個別相談	1,813回
	居宅介護支援事業者連絡会	1回
	介護支援専門員への研修会	1回(共催)

②権利擁護事業

高齢者虐待 対応状況	虐待と判断	1件
	虐待と判断せず	9件
	判断至らず	1件
	合計	11件

分離の有無	養護者から分離	0件
	養護者から分離せず	1件
	合計	1件

③介護予防ケアマネジメント（チェックリストにより事業対象者になった方、および要支援認定を受けて総合事業のみを利用する方）

包括作成プラン数	一部委託プラン数	合計
338件	3,837件	4,175件

④介護予防支援（要支援の認定を受けて予防給付を利用される方）

包括作成プラン数	一部委託プラン数	合計
238件	4,505件	4,743件

⑤地域包括支援センター総合相談窓口（ブランチ）による支援

総合相談	訪問による相談	延	257件
	電話による相談	延	517件
	来所による相談	延	22件
	その他	延	2件
	合計	延	798件

⑥地域住民向け勉強会

○終活セミナー開催

（大阪祭典、人と家の見守り活動支援センターと共催）

清江地域（敷津浦住宅集会所）：参加者20名

新北島地域（新北島南公園福祉会館）：参加者22名

平林地域（平林福祉会館）：参加者29名

*住之江地域、住吉川地域については、新型コロナウイルス感染拡大により開催中止

⑦ケアマネジャー向け勉強会

○開催日 令和3年12月24日（金）

場 所 オンライン開催

テーマ 高齢者虐待防止研修会

講 師 関西福祉科学大学 社会福祉学部 准教授 家高 将明氏

参加者 47人

⑧地域の支援者向け勉強会

○新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、今年度は開催なし。

⑨認知症高齢者支援ネットワーク連絡会

○連絡会（参加者20名）

区医師会・4包括・ブランチ・オレンジチーム・区社協・
区役所・在宅医療介護連携支援コーディネーター

○区民向け勉強会

新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、今年度は開催なし。
冊子「認知症の気づきのポイント」を作成し区民向け啓発とした。

○多職種研修

令和3年11月24日（水） オンライン開催

講演会 「高齢者の妄想と認知症」

講師 社会医療法人北斗会 ほくとクリニック病院 深尾 晃三氏

参加者 70名

⑩在宅医療・介護連携推進協議会

○連絡会 新型コロナウイルスの感染拡大により今年度は開催なし。

○講演会 新型コロナウイルスの感染拡大により今年度は開催なし。

(2) 大阪市家族介護支援教室事業

○講演会「知って学んで役立てよう！～家族と介護～」

開催日 令和3年12月14日（火）

場 所 区在宅サービスセンター

講 師 住之江区さざんかオレンジチーム、介護家族

一般社団法人日本アンガーマネジメント協会 中西 弘典氏

参加者 16名

5 介護予防教室（なにわ元気塾）事業（市委託事業）

年齢を重ねてもできるかぎり自立した自分らしい生活を送れるように、介護が必要な状態になることを予防するため、地域の身近な場所での様々なレクリエーションによりこころとからだの元気を高める「なにわ元気塾」などの教室を地域の支援者ととともに実施した。

○通所型閉じこもり予防事業実績（月1回・1回90分）

実施箇所数 4箇所 述べ参加者数 233人

6 老人福祉センター事業（市指定管理事業）

令和3年度もコロナ禍による感染予防対策により中止・休止等の対応に迫られる中で、リスケジュールにより可能な限り開催数を維持し、利用者が自分に合った事業が選択できよう努めた。また、各種相談に応ずるとともに、運営主体である住之江区社会福祉協議会の活動と連携して地域福祉の増進を図ることを目指し、地域包括ケアシステム的一端を担う施設として取り組んだ。

実施事業としては、従来の3つのジャンルに“+ONE（プラスワン）事業”

を加え、外出の機会・交流の場づくり、あるいはコロナ禍の中、来館しなくても参加できる事業や男性利用者の増加を目指した事業などを開催した。

- (1) 生きがいつくり (趣味づくり・仲間づくり)
- (2) 教養の向上 (知識向上・生活向上)
- (3) 健康保持増進活動 (介護予防、回想法)
- (4) +ONE事業 (新規事業／カフェ／男性の体操教室／Zoom など)

開催事業一覧

(1) 生きがいつくり (趣味づくり・仲間づくり)

事業名	開催数	参加者数
将棋開放	59回	696名
囲碁開放	59回	639名
筆ペン講習会	9回	83名
絵画教室	6回	55名
干支(寅)の押絵	1回	15名
着付全体の体験	1回	6名
着付体験教室とお話し	1回	6名
押し花フレームアート	1回	10名
ジェルネイル体験	1回	8名
デコパージュでアレンジ マイバックづくり	1回	12名
さざんかの折り紙貼り絵	1回	14名
洗濯のりでハーバリウム	1回	22名
手づくり講習会 折り紙でつくるバラの花束	1回	17名
誕生日会 (1部・2部)	各6回	179名

(2) 教養の向上 (知識向上・生活向上)

事業名	開催数	参加者数
かんたんシンプルスマホ体験教室	1回	6名
スマホ活用講座 (基本的な操作・LINE・写真・アプリなど)	11回	148名
チーズセミナー入門編	1回	14名
ウィークデリアンサンブル	1回	24名
楽しく話そう英会話	2回	14名

(3) 健康保持増進活動 (介護予防、回想法)

事業名	開催数	参加者数
いきいき百歳体操開放 (4グループ)	166回	1,802名
おなかの健康と楽しい体操 (南港出張含)	4回	54名
転倒防止のお話し	1回	15名
笑い感動と健康 (南港出張含)	2回	30名
懐かしの映画上映会	7回	111名

自宅でできる健康体操	12回	155名
健康体操と足育講座	2回	28名
いきいき百歳体操体力測定会	1回	22名
ノルディックウォークを楽しむ会	5回	52名
講習会リラックスヨガ	14回	128名
ツボ押し運動教室	2回	22名
リフレッシュ体操教室	8回	121名
輪投げ大会	1回	19名
映画「ぼけますから、よろしくお願いします」上映	2回	48名
リズムに合わせて脳ストレッチ	2回	31名
Zoom ストレッチ運動	1回	8名
ふれあいボウリング大会	1回	14名

(4) +ONE事業 (新規事業/カフェ/男性の体操教室/Zoom など)

事業名	開催数	参加者数
イレブンスマイルカフェ	感染予防のため中止	
イレブンスマイルミーティング	11回	93名
イレブンスマイル	4回	28名
スマホ Zoom 講座	5回	37名
男性の体操教室	14回	153名
スマホボランティア養成講座	3回	25名

◆ 共催事業/世代間交流事業

世代間交流事業 (子プラ) 卓球教室	3回	9名
共催事業 (図書館) かみふうせんミュージックシアター	1回	12名
共催事業 (区役所、図書館、コミ協、クラルテ) 人形劇フェスティバル	1回	30名
共催事業 (区老連) ふれあいグランドゴルフ大会	1回	139名

◆ サークル活動 (感染予防対策と制限を設けて実施)

サークル名	主な感染予防対策
カラオケ1、2、3	換気、マスク着用、マイクカバー、シールド、人数制限など
民謡	換気、マスク着用、シールド、人数制限など
民踊A、B	換気、マスク着用、グループ分けなど
俳句	換気、マスク着用、人数制限など
謡曲	換気、マスク着用、シールド、大声禁止、人数制限など
書道1	換気、マスク着用、シールド、人数制限など
編物1、2	換気、マスク着用、人数制限など
囲碁サークル	換気、マスク着用、シールド、人数制限など
健康体操A、B	換気、マスク着用、グループ分けなど

将棋サークル	換気、マスク着用、シールド、人数制限など		
コーラスカメラiaz	換気、マスク着用、シールド、大声禁止、グループ分けなど		
書を楽しむ会	換気、マスク着用、人数制限など		
ウクレレ	換気、マスク着用、人数制限など		
囲碁将棋サークル大会	換気、マスク着用、シールドなど	1回	29名
サークル世話人会	換気、マスク着用、ソーシャルディスタンスなど	1回	15名

※卓球サークル、茶道については、コロナ禍の影響により活動休止

◆ 利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延利用 人数	891	0	229	949	357	499	1416	1320	1217	1132	963	1244	10217
登録 者数	300	0	32	57	26	24	51	54	21	14	25	22	626

※ 休館等について

- 令和3年4月26日～6月20日：緊急事態宣言発出のためセンター休館
 令和3年6月21日～7月31日：まん延防止等重点措置のため一部事業とサークル活動の休止
 令和3年8月1日～9月30日：緊急事態宣言発出のため運動系事業のみ実施し、それ以外の事業やサークルについては活動休止

7 子ども・子育てプラザ事業

次世代を担う子どもの健やかな育成を図り、家庭や地域の子育て力を高めるため、子育て中の家庭や地域の子育て活動を支援するとともに、乳幼児期の親子や子育て支援関係者、就学期の子どもたちが集い交流する機会を提供し、各種講座・イベントを開催した。令和3年度は延べ10,774人の利用があった。

※新型コロナウイルス感染症拡大による事業の中止等について

- 令和3年4月25日から6月13日までの緊急事態宣言期間中「電話及び窓口による子育て相談」および「ファミリー・サポート・センター事業」を除くすべての事業を中止。
- 令和3年7月30日から9月30日までの緊急事態宣言期間中運動を伴う事業および運動を伴う一般利用を中止。

(1) 子育て活動支援事業

① 子育て等に関する相談・援助の実施

- 子育てなんでも相談 年9回開催（2回中止）

○すくすく成長測定 年10回開催（2回中止）

②地域の子育て関連情報の提供

- 子育てに関する情報コーナーの設置、子ども・子育てプラザ情報紙「プラザだより」を毎年14,320部発行、関係施設・団体に配布
区内情報紙 2紙、区広報「さざんか」、子育て活動支援情報紙「わいわい」にプラザの情報を掲載
- ホームページの管理 毎月の行事予定・行事報告の情報を掲載
- You Tube を活用し、お楽しみタイムを撮影した動画を配信

③子育て及び子育て活動支援に関する講習等の実施

- ふれあい遊び 年6回開催（4回中止）
- 出前講座（出前周知活動「プラザってどんどころ？」）年2回開催
- パパ講座 年4回開催 ○絵本のひろば 年1回開催
- 絵本展（1回中止） ○プレママ（パパ）講座 年1回開催

④地域の関係機関や子育て活動支援を行う団体等と連携し、地域交流活動を実施

- プラザ夏のフェスタ 1時間ごとの3クールに分けて開催
- 母と子の共励会事業に協力 ○おもちゃ病院 年5回開催（6回中止）
- 世代間交流「卓球教室」老人センター 年3回開催（7回中止）
- 地域子育て活動支援者研修 年1回開催（1回中止）
- 子育てサロン連絡会 年1回開催（1回中止）
- 森ノ宮医療大学看護学生実習受け入れ（12日）

⑤児童健全育成事業

- 各種講座の開催
 - ・卓球教室 年3回開催（7回中止）
 - ・工作教室 年5回開催（2回中止）
 - ・地域出前講座 新北島南公園（開催中止）
 - ・親子で学ぶマナー講座（開催中止）
 - ・外国にルーツを持つ子どもの日本語、学習支援
- 各種体験講座・各種大会の開催
 - ・エアホッケー大会 年1回開催 ・リサイクル工作 年1回開催
 - ・ミニ祭り 年1回開催 ・ビンゴ大会 2日間に分けて開催
 - ・新春ゲーム大会 年1回開催
 - ・夏休み自由工作（7月28日～8月31日の夏休み期間中）
9人参加

(2) つどいの広場事業

①各種イベント開催

- クリスマス会開催（人数制限1回に15組 3回実施）
3回合計95人参加

②子育て支援に関する各種講座の開催

- 親子エアロビクスの開催 年 8回開催(3回中止)
- 親子リトミック遊びの開催 年 8回開催(3回中止)
- 絵本の読み聞かせ 年10回開催(5回中止)
(うち3回 ボランティアグループ「絵本の会」協力)
- 簡単工作 年 6回開催(3回中止)
- 簡単遊び 年 2回開催
- お楽しみタイム 毎日 2回開催

③ブックスタート事業の実施 年14回開催(1回中止)

(3) 大阪市ファミリー・サポート・センター事業

①会議等の開催

- サブリーダー会議の開催 年3回開催
- 会員交流会の開催 年1回開催
- 学習会の開催 年1回開催
- 救命救急講習 (開催中止)

②援助活動実施件数 286件

会員数 170人

(内訳) 依頼会員：77人 提供会員：44人 両方会員：6人

(4) 『南港地域での子育て支援』住之江区事業の実施

南港に在住しているプラザの利用者から「プラザのイベントに参加したいが、電車に乗って出かけないといけないので、参加しにくい」などの意見が多く出ている。これらの意見に対して、南港地域に出向き出前講座などを行うことにより、南港地域での子育て支援の充実を図っていくことを目的に実施した。

開催日・参加者数

令和3年	4月	9日	8組	15人
令和3年	5月	14日	中止	
令和3年	6月	11日	中止	
令和3年	7月	9日	7組	16人
令和3年	9月	10日	6組	12人
令和3年	10月	8日	10組	20人

令和3年11月12日	10組	20人
令和3年12月10日	10組	20人
令和4年 2月 4日	9組	19人
令和4年 3月11日	10組	20人
合計	8回	70組 142人

※会場：ATCオズ北2階 ママのフォレストパーク

時間：午前10時30分～午前11時15分

内容：ふれあい遊び・リズム遊び・絵本の読み聞かせ・製作等

8 生活困窮者自立相談支援事業（市委託事業）

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、「住居確保給付金制度」の申請者条件が、2年以内の離職者から収入減少者にも拡充される。更に、総合支援資金再貸付申請者・生活困窮者自立支援金申請者で、生活困窮者自立相談支援機関へ相談希望にチェックがある、チェックはないが具体的に相談内容の記載がある場合等に対して相談対応を行った。法に基づく事業である家計改善支援事業、認定就労訓練事業や、子ども自立アシスト事業など年齢に関わらない幅広い相談対応を行った。また、学童期よりお金の大切さを知り、最低限身に付けるべき金融リテラシーについて、親子で「お金について学ぶ勉強会」を、企業協力のもと開催することにも力を入れてきた。（オミクロン株蔓延にて中止）

（1）相談実績報告

◎新規相談・相談対応（人）

新規相談（実人数）	637
相談対応（延べ人数）	2,163

◎男女別対比（人）

男 性	377
女 性	260
不 明	0
合 計	637

◎年齢別相談者数（人）

～10代	5
20代	71
30代	73
40代	101
50代	108
60～64才	46
65才～	153
不明	80
合 計	637

◎相談内容別内訳（人）複数選択有り

病気	77
住まいについて	63
収入・生活費	254
家賃・ローンの支払い	291
税金や公共料金等の支払い	39
債務について	36
仕事探し、就職について	108
仕事上の不安・トラブル	13
地域との関係について	1
家族との関係について	27
子育てのこと	8
介護のこと	14
ひきこもり・不登校	16
DV・虐待	2
食べるものがない	20
その他	78
合 計	1,047

(2) 広報周知・講座の開催、イベント等への参加

- ①区役所内 電子掲示板掲示・区社協だより 第74・75号
- ②住之江区広報紙「広報さざんか」7月・2022年1月号記事記載
- ③イベント関係
 - 親子で学ぼう！マネー講座 講座開催 (コロナまん延防止により中止)
 - 見守り活動見本市 (コロナまん延防止により延期)

(3) 区内外担当者・関係機関との連携・定例会議の開催等

毎月1回、区担当者(就労支援事業者等)と事業の進捗状況や相談ケース対応の経過の方向性について、定例支援調整会議を実施。

また、随時支援対応として支援調整会議を開催・支援検討を実施。生困シェア会議への参加等、区役所内各担当部署や関係機関との連携を図れるよう対応を行った。

9 生活福祉資金貸付事業

<相談実績報告(件)>

内 容	電話相談		窓口相談		申込書配付	
	R3	R2	R3	R2	R3	R2
福祉資金	390	284	91	65	17	9
教育支援資金	381	351	153	102	23	27
緊急小口資金	15	32	3	10	0	6
不動産担保型生活資金	8	4	1	2	0	0

●生活福祉資金新型コロナウイルス感染症特例貸付受付状況

①貸付対象 新型コロナウイルス感染症の影響を受け、収入減や失業等により生活に困窮し、日常生活の維持が困難となっている世帯

- ②貸付上限額
- ・緊急小口資金 20万円
 - ・総合支援資金 60万円(月額20万円×3か月)
 - ・ " (延長) 60万円(月額20万円×3か月)
 - ・ " (再貸付) 60万円(月額20万円×3か月)
- } ※注1

※注1：単身世帯は月額15万円が上限

●住之江区受付状況(令和4年3月31日現在 大阪府社協申請件数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
緊急小口	96	121	136	82	91	63	44	50	22	30	32	31	798
総合支援	98	109	136	83	90	61	50	32	24	17	15	41	756
総合支援(延長)	47	149	10	/	/	/	/	/	/	/	/	/	206
総合支(再貸付)	52	94	145	146	283	85	71	83	37	4	/	/	1,000

※参考令和2年度緊急小口・総合支援

緊急小口	415	547	412	219	142	126	93	77	70	71	165	221	2,558
総合支援	36	303	340	247	152	121	82	71	78	45	83	170	1,728

10 生活支援体制整備事業（市委託事業）

総合事業の実施に伴い、地域資源の開発や関係者間のネットワーク構築、高齢者の活躍と通いの場を創出、確保するための調整等を行なった。

（1）地域資源の把握状況

地域調査や各種情報紙等により把握した地域資源の数

	区内の介護予防の取組み						区内の生活支援サービス			
	就労	地域貢献	趣味	運動	学習	交流	買い物	家事	外出	その他
資源の数	0	8	299	172	37	90	29	19	11	97

（2）地域資源の創出数

	区内の介護予防の取組み						区内の生活支援サービス			
	就労	地域貢献	趣味	運動	学習	交流	買い物	家事	外出	その他
新規立ち上げの数	0	0	0	3	1	1	0	0	1	0
既存資源の拡充	0	0	1	7	2	6	0	0	1	0

（3）「社会資源発表会」の開催

4月以降、高齢者の暮らしに役立ちそうな情報を商店等に訪問インタビュー方式で収集してきた。中間報告を関係機関向けに次のとおり行った。

日時	12月6日（月）午後2時～4時
場所	さざなみ多目的室
参加者	21名（包括スタッフ、地域ボランティア等）
内容	まちの電気店、宅配するスーパー、薬局、クリーニング店、工務店等へのインタビューで高齢者の暮らしに役立つ情報

（4）シニア世代が望む活躍と集いの場調査

今のシニア世代がどんな集いの場を求めているのか、ボランティア活動に参加したいのかどうか、また、その場合どんなスキルを持っているのか。

更にスマホやSNS等の利用状況等、今後、生活圏域において、シニア世代の望む活躍と集いの場を創出していくうえで、その世代の生の声を聴くため、区内シニア世代（60歳～79歳）の方1万人を対象に住民基本台帳を基に無作為抽出で1万人にアンケートを行った。

実施期間：令和3年12月

配付数及び回答数：10,000件/3,354件（回答）

【成果の一つ】ボランティア希望を調査したところ、257名ものボランティア希望者があった。さらに「強み」や「根拠」を尋ねたところ、看護師、電気工事士、土木・園芸関係、薬剤師、介護職等多数の記述をいただいた。

次年度、「はじめまして」からアプローチを始める。

（5）協議体開催状況

「シニア世代が望む活躍と集いの場調査」制作をテーマに助言者を招聘して4つの包括支援センター、区役所保健福祉課、区社協で「第1層協議体」を形成した。

「第1層協議体」

協議テーマ	「シニア世代が望む活躍と集いの場調査」
内 容	第1回（7/9）アンケート内容 第2回（8/4）調査項目 第3回（8/23）調査項目・送付回収方法 第4回（9/8）ボランティア希望の聴き取り方 第5回（9/16）設問考察 第6回（10/6）設問考察・調査票全体像 第7回（10/13）調査票校正・依頼文等 第8回（11/22）広報計画・分析後の発表会 第9回（3/2）調査結果共有・第2層協議体形成合意
助 言 者	綾部貴子准教授（梅花女子大学口腔保健学科）

（6）広報物の作成

生活支援コーディネーター日より「みてみて通信」を発行し、情報八を行った。

その他の区社協による事業部門（自主事業・その他）

1 通所介護・介護予防通所介護事業

利用者個々の生き方に配慮した画一的でないサービス提供を心がけ、実りある日常生活を共に築き上げることをモットーに取り組んでいる。

今年度（令和3年度）はコロナ禍の影響を受け、前年比25%（522名）の利用者減となった。

<利用実績>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
日数	21	18	22	20	22	20	21	20	20	19	18	22	242
利用人員	22	20	21	22	22	19	21	19	19	20	20	17	—
延人員	163	137	151	150	145	113	137	114	117	96	91	113	1,527

2 あんしんさぽーと事業（日常生活自立支援事業）

認知症、知的障がい、精神障がいなどにより判断能力が不十分な方を対象に、福祉サービスの利用援助や日常の金銭管理をお手伝いし、安心して生活が送れるよう支援する。

<令和3年度末利用状況>

	認知症高齢者等	知的障がい者等	精神障がい者等	その他	計
利用希望状況	11	7	4	0	22
利用実人員数	77	28	30	1	136

<令和3年度契約締結・終了件数累計>

	認知症高齢者等	知的障がい者等	精神障がい者等	その他	計
契約締結件数	14	7	1	0	22
契約終了件数	31	1	3	0	35

<令和3年度相談援助件数>

	認知症高齢者等	知的障がい者等	精神障がい者等	その他・不明	計
問い合わせ件数	0	0	0	0	0
初回相談件数	27	11	7	0	45
相談援助件数	3,698	1,440	2,051	82	7,271
令和3年度合計	3,725	1,451	2,058	82	7,316

3 地域による人と家の見守り活動支援事業（独自事業）

少子高齢化と核家族化により生じる高齢者の単身世帯の問題とその先にある管理されない家屋の問題を、福祉の視点から「人も家も見守っていく」事業を行うため、地域福祉関係団体や協力事業者のネットワークを活用しながら、予防的な空き家対策を進めている。過去3年間の区委託事業を経て、令和3年度は、独自事業として実施。しかし財源確保の課題から事業終結に至った。

（1）相談対応の実績について

開設時から令和3年12月末まで 累計130件

平成30年度（7月～3月）	37件
令和元年度（4月～3月）	37件
令和2年度（4月～3月）	26件
令和3年度（4月～12月）	30件

（2）相談の内容

特定空家等通報に類するもの	10件
空き家の物件の紹介の希望	3件
本事業の趣旨に合致するもの	117件

（主な内容）

持ち家の処分（売却・解体・借地返還）に関する事	65件
持ち家の維持管理（修繕・剪定など）に関する事	36件
今後の住まいなどについての漠然とした不安など	9件

（3）広報活動

①住之江区地域包括支援センターが開催する「終活セミナー」に参加 人と家の関係についての啓発と個別相談会を実施

地域	日時	場所
清江	11月19日（金）午後2時～4時	敷津浦住宅集会所
新北島	11月30日（火）午後2時～4時	新北島南公園福祉会館
平林	12月7日（火）午後2時～4時	平林福祉会館

※1月27日と28日開催予定（住之江地域・住吉川地域）だったセミナーは、
新型コロナウイルスまん延防止の観点から中止となった。

②「ニュースレター」の発行

令和3年6月 創刊号発行 令和3年10月 第2号発行

令和4年3月 最終号発行

部数 各1500部

配布先 福祉系事業所、病院、地域、公共団体、協定事業者、
学識経験者、各種団体（法律系・不動産系）、企業等

③令和3年度三都連携事業「空家と向き合う問題を先送りしないために」

日時 令和4年3月19日（火）午前10時～11時

場所 市住まい情報センター3階ホール

パネリスト 田中知彦氏（人と家の見守り支援センター）

伊藤千春氏（イトウチハル設計工房）

松本知之氏（Renovater 株式会社）

福本貴美子氏（千島土地㈱地域創生社会貢献部）

コーディネーター 生川慶一郎准教授（京都美術工芸大学）

4 相談援助実習・職場体験学習等の受入

学校・機関名	実習・学習（人数）	期間	内容
神戸医療福祉大学	ソーシャルワーク実習(1人)	9/21～10/29 内 24 日間	事業全般
	相談援助基礎実習(1人)	9/3～9/28 内 11 日間	事業全般
佛教大学	社会福祉援助現場実習(1人)	9/2～12/23 内 25 日間	事業全般